

平成30年度

第3次宇和島市男女共同参画基本計画進捗状況調査結果

# 男女共同参画関連施策表

## 基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍

### 推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進

- ①行政の審議会等への女性登用の推進
- ②女性市職員の管理職への登用等の推進
- ③企業・各種団体等における意思決定過程への女性の参画促進

### 推進方策2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保

- ①企業等における女性活躍推進に向けた取り組みの支援
- ②農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
- ③再就職や企業活動などへのチャレンジ支援

### 推進方策3 地域社会における男女共同参画の確立

- ①地域活動における男女共同参画の推進
- ②防災分野における女性の参画促進

### 推進方策4 仕事と生活の調和(ライフ・ワーク・バランス)の拡充

- ①多様で柔軟な働き手の普及・促進
- ②家庭生活における男女共同参画の推進

## 基本目標Ⅱ 全ての世代への男女共同参画意識の浸透

### 推進方策1 暴力を許さない社会づくり

- ①あらゆる暴力の防止
- ②相談体制と支援体制の充実

### 推進方策2 男女共同参画の視点に立った意識改革

- ①市民に広がりを持った広報・啓発活動の充実
- ②地域における男女平等意識の啓発

### 推進方策3 男女共同参画に関する教育・学習の推進

- ①男女共同参画の視点に立った家庭教育・学習の推進
- ②男女共同参画の視点に立った学校教育・生涯学習の推進
- ③国際交流の充実及び国際感覚の向上

## 基本目標Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり

### 推進方策1 生涯を通じた健康づくり支援

- ①市民の健康増進と健康への機会作り
- ②男女の性差に応じた健康支援

### 推進方策2 高齢、障がい、貧困等の困難を抱えた人たちが 安心して生活できる環境の整備

- ①高齢者や障がい者等の社会参画の推進
- ②高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境の整備
- ③貧困等生活上の困難に直面する男女への支援

### 推進方策3 安心して子育てができる環境の整備

- ①安心して子どもを育てられる環境整備

# 【概要・各課施策関連事業】

## 基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)

### 推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画推進

#### 1. 行政の審議会等への女性の登用推進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
審議会における女性の参画促進(審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	20.6%	35%	21.7%	1
選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	34%	45%	39%	2

#### 2. 市女性職員の管理職への登用等の推進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性の割合)	総務課	6.0%	10%	5.9%	3

### 推進方策2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保

#### 1. 企業等における女性の活躍推進に向けた取り組みの支援

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
えひめ子育て応援企業の認証件数(市内事業所)	商工観光課	—	45件	31件	4
ひめボス、イクボス宣言事業所数(市内事業所)	企画情報課	—	20件	12件	5

#### 2. 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
農業委員に占める女性の割合	農業委員会	—	12.5%	8.3%	6
農地利用最適化推進委員に占める女性の割合	農業委員会	—	13.0%	8.7%	7
認定農業者に占める女性の割合	農林課	—	15.0%	12.9%	8
家族経営協定の締結数	農林課 農業委員会	92戸	115戸	99戸	9

### 推進方策3 地域社会における男女共同参画の確立

#### 1. 地域活動における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
自治会長に占める女性の割合	企画情報課	3.9%	6.0%	3.9%	10

#### 2. 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
消防団員に占める女性の割合	危機管理課	—	3.0%	1.4%	11
防災会議委員に占める女性の割合	危機管理課	4.0%	10.0%	4.0%	12
防災士数(うち女性の防災士数)	危機管理課	—	800人(160人)	701人(154人)	13

## 基本目標Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)

### 推進方策1 生涯を通じた健康づくり支援

#### 1. 市民の健康増進と健康への機会づくり

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
特定健康診査受診率	保険健康課	29.5%	60.0%	33.4%	15
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)受診率	保険健康課	7.3-15.2%	50.0%	4.3-13.4%	14
特定保健指導実施率	保険健康課	29.6%	60.0%	未確定	16

#### 2. 男女の性差に応じた健康支援

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
妊婦健康診査(公費負担)受診率	保険健康課	95.6%	100%	97.2%	17

### 推進方策3 安心して子育てが出来る環境の整備

#### 1. 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標		実績	項
		現状値(H29)	目標値(H39)	実績(H30)	
市職員の育児休業等取得率の向上	総務課	—	男性15.0%以上 女性100%	男性0% 女性100%	18
延長保育実施箇所数	福祉課	7箇所	10箇所	7箇所	19
休日保育実施箇所数	福祉課	1箇所	1箇所	1箇所	20
病児保育実施箇所数	福祉課	1箇所	2箇所	1箇所	21
学童保育実施箇所数	福祉課	11箇所	13箇所	11箇所	22
一時預かり実施箇所数	福祉課	6箇所	10箇所	6箇所	23
放課後子ども教室数	生涯学習課	11箇所	15箇所	12箇所	24
放課後子ども教室登録児童数	生涯学習課	—	400人	308人	25
地域子育て支援拠点施設設置箇所数	福祉課	—	8箇所	5箇所	26
ファミリー・サポート・センター利用会員登録者数	福祉課	—	500人	398人	27

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
<b>施策の方向</b>	1 行政の審議会等への女性登用の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	20.6%	35.0%
<b>事業の概要</b>			
政策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、地方自治法180条の5に基づき設置する委員会(教育委員会、選挙管理委員会等)、202条の3または、要綱等に基づき設置する審議会・委員会等、政策又は方針の立案及び決定に際して意見を述べ、または審査、審議等を行なう各種審議会等への女性の登用を促進しようとするもの。			
<b>平成30年度実績</b>			
<b>【H30.4.1現在の女性の登用率】</b> ○地方自治法180条の5に基づき設置する委員会 3/6(女性のいる委員会/委員会総数)、7/63(女性委員数/総委員数)→女性比率11.1% ○地方自治法202条の3に基づき設置する委員会、要綱等による委員会 32/41(女性のいる委員会/委員会数)、170/732(女性委員数/総委員数)→女性比率23.2% ○地方自治法202条の3以外より設置する委員会等 15/23(女性のいる委員会/委員会数)、50/249(女性委員数/総委員数)→女性比率20.1%	} 計21.7%	<b>決算額</b>	-
		<b>実績値</b>	<b>21.7%</b>
		<b>進捗状況</b>	<b>3</b>
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
各種団体や各課の長が委員となっている組織が多いことから、自ずと登用が進んでいないのが現状である。条例、要綱等の改正も視野に入れ登用の促進を図っていく必要がある。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか		<b>3</b>	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか		<b>4</b>	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか		<b>4</b>	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか		<b>5</b>	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか		<b>5</b>	
<b>平成31年度予定</b>			
<b>【H31.4.1現在の女性の登用率】</b> ○地方自治法180条の5に基づき設置する委員会 3/6(女性のいる委員会/委員会総数)、7/64(女性委員数/総委員数)→女性比率10.9% ○地方自治法202条の3に基づき設置する委員会、要綱等による委員会 32/40(女性のいる委員会/委員会数)、184/730(女性委員数/総委員数)→女性比率25.2% ○地方自治法202条の3以外より設置する委員会等 13/25(女性のいる委員会/委員会数)、41/236(女性委員数/総委員数)→女性比率17.4%	} 計22.5%	<b>予算額</b>	-
		<b>目標値</b>	<b>25%</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
<b>施策の方向</b>	1 行政の審議会等への女性登用の推進

関連事業	担当課	数値目標			
		現状値(H29)	目標値(H39)		
選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	34.0%	45.0%		
<b>事業の概要</b>					
「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙において投票当日及び期日前投票所の管理執行に立合う投票立会人に女性の比率を高めていこうとするものである。					
<b>平成30年度実績</b>					
愛媛県知事選挙	投票日(11/18)	152人中	19人	12.50%	決算額
		期日前投票	168人中	106人	63.10%
	【合計】	320人中	125人	39.06%	39%
					進捗状況
					3
<b>事業に対する評価・課題等</b>					
女性立会人の増員を積極的に促進します。					
<b>男女共同参画の視点での評価</b>					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					
<b>平成31年度予定</b>					
参議院議員通常選挙					予算額
					目標値
					40%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
<b>施策の方向</b>	2 女性職員の管理職への登用等の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	6.0%	10.0%
<b>事業の概要</b>			
平成30年4月1日時点における一般行政職員(保育士、幼稚園教諭、診療所職員、病院局職員(事務職は除く。))及び派遣職員は除く。)の女性管理職(課長補佐級以上)の割合は5.9%であり、目標値の10.0%はクリアできていない。今後においても女性登用率をさらに向上させ、政策・方針決定過程への女性の参画促進を推進する。			
<b>平成30年度実績</b>			
管理職119人のうち女性職員7人 5.9% <内訳: 部長9人(うち女性1人)、課長級38人(うち女性1人)、課長補佐級72人(うち女性5人)>			決算額
			実績値
			<b>5.9%</b>
			進捗状況
<b>2</b>			
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
目標値の達成とはいかないが、H31年度(H31.4.1現在)においては6.6%と前年度よりも増加傾向にあり、今後においても引き続き女性管理職の登用を進めていく方針であり、各種研修への参加やジョブローテーションによる多様な職務経験の付与等により、女性職員のキャリアアップを図ることが必要である。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			-
<b>平成31年度予定</b>			
○平成31年度(H31.4.1現在) 管理職121人のうち女性職員8人6.6% <内訳: 部長9人(うち女性1人)、課長級39人(うち女性1人)、課長補佐級73人(うち女性6人)>			予算額
			目標値
			<b>10.0%</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
<b>施策の方向</b>	1 企業等における女性の活躍推進に向けた取り組みの支援

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
えひめ子育て応援企業の認証件数(市内事業所)	商工観光課	—	45件
<b>事業の概要</b>			
仕事と家庭生活が両立しやすい職場環境づくりに取り組む企業を県が認証し、社会的に評価される仕組みをつくることにより、働き方の見直しに向けた企業の自主的な取組の促進を図り、もって仕事と家庭生活が両立しやすい職場環境づくりを、市内企業等に促進する。			
<b>平成30年度実績</b>			
県の取組に協力し、各施設にポスター等掲示。			決算額
			0千円
			実績値
			31件
			進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
女性の雇用に積極的な企業が増えてきており、仕事と家庭の両立支援体制と調える企業が認証を受けている。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			—
<b>平成31年度予定</b>			
県からの求めに応じ、引き続き協力し、広報活動等を行っていく。			予算額
			—
			目標値
<b>35件</b>			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
<b>施策の方向</b>	1 企業等における女性の活躍推進に向けた取り組みの支援

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
ひめボス、イクボス宣言事業所数(市内事業所)	企画情報課	—	20件

**事業の概要**

「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフの仕事と生活の調和を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指します。その中でも、愛媛の活性化を願い、愛媛で働く人を応援する上司(経営者・管理職)のことを「ひめボス」と言います。

**平成30年度実績**

令和元年8月31日現在 泉建設工業株式会社、宇和島商工会議所、宇和島漬物食品株式会社、医療法人清岡眼科、有限会社 菅原、津島町商工会、株式会社藤堂組、南レク株式会社、株式会社ひめ美じん、三好造船株式会社、山下クリニック、吉田三間商工会	<b>決算額</b>	-
	<b>実績値</b>	<b>12件</b>
	<b>進捗状況</b>	<b>2</b>

**事業に対する評価・課題等**

平成30年度は特にひめボスを推進できていない。また、宇和島市内はほとんどが小規模事業者のため、なかなか進んでいけないのが現状だと思われる。宣言することでのメリットを整理して事業所へ情報提供し、宣言を促していかないといけない。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

**平成31年度予定**

市ホームページや広報等に事業所募集の記事を出すなど周知をしていきたい。	<b>予算額</b>	-
	<b>目標値</b>	<b>15件</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
<b>施策の方向</b>	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
農業委員に占める女性の割合	農業委員会	—	12.5%
<b>事業の概要</b>			
<p>現在、宇和島市農業委員・農地利用最適化推進委員の定数は47名で、うち4名が女性委員となっている。平成28年4月1日に農地法改正が行われた事により、29年11月1日から農業委員24名(うち女性委員2名)、農地利用最適化推進委員(うち女性委員2名)合計47名の新体制が発足した。任期は3年であり、今後女性委員の減少が懸念されるが、現状の人数を確保するとともに引き続き増員を図りたい。</p>			
<b>平成30年度実績</b>			
<p>【H30.4.1現在の女性の登用率】 ○農業委員会等に関する法律第三条に基づき設置する委員会のうち、同法第八条により任命される農業委員について 2/24(女性農業委員/農業委員総数)→女性比率8.3%</p>			決算額
			-
			実績値
			8.3%
			進捗状況
			3
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
<p>平成29年11月から3年の任期のため改選は行われておらず、現状を維持している。 次回、令和2年11月の改選時には、現状の人数を確保するとともに、引き続き増員を図りたい。</p>			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			5
<b>平成31年度予定</b>			
平成31年度中も改選は行われなため、現状維持となる。			予算額
			-
			目標値
			8.3%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
<b>施策の方向</b>	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
農地利用最適化推進委員に占める女性の割合	農業委員会	—	13.0%
<b>事業の概要</b>			
<p>現在、宇和島市農業委員・農地利用最適化推進委員の定数は47名で、うち4名が女性委員となっている。平成28年4月1日に農地法改正が行われた事により、29年11月1日から農業委員24名(うち女性委員2名)、農地利用最適化推進委員(うち女性委員2名)合計47名の新体制が発足した。任期は3年であり、今後女性委員の減少が懸念されるが、現状の人数を確保するとともに引き続き増員を図りたい。</p>			
<b>平成30年度実績</b>			
<p>【H30.4.1現在の女性の登用率】 ○農業委員会等に関する法律第三条に基づき設置する委員会のうち、同法第十七条により任命される農地利用最適化推進委員について 2/23(女性農地利用最適化推進委員/農地利用最適化推進委員総数)→女性比率8.7%</p>			決算額
			-
			実績値
			8.7%
			進捗状況
			3
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
<p>平成29年11月から3年の任期のため改選は行われておらず、現状を維持している。 次回、令和2年11月の改選時には、現状の人数を確保するとともに、引き続き増員を図りたい。</p>			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			5
<b>平成31年度予定</b>			
平成31年度中も改選は行われないため、現状維持となる。			予算額
			-
			目標値
			8.7%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
<b>施策の方向</b>	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
認定農業者に占める女性の割合	農林課	—	15.0%

事業の概要	
農業経営改善計画を策定し、積極的に農業経営へ参画する女性の比率を高めていこうとするものである。	

平成30年度実績	
認定農業者数:497人 うち女性:64人(12.9%)	決算額
	実績値
	左記参照
	進捗状況

事業に対する評価・課題等	
若干ではあるが、増加傾向にある。家族経営協定を活用した認定農業者の共同申請制度により女性の比率を高めたい。	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成31年度予定	
今後もあらゆる機会を通して、女性認定農業者の増加に向けて周知を図りたい。	予算額
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	2 働く場における男女の均等な機会と待遇の確保
<b>施策の方向</b>	2 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
家族経営協定締結の支援	農林課 農業委員会	92戸	115戸
<b>事業の概要</b>			
農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す。			
<b>平成30年度実績</b>			
家族経営協定締結数:99家族 新規締結は、2家族	決算額		
	実績値		
	左記参照		
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
経営面や生活面でのルールを文書化することで、妻や後継者も経営参画することができている。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4		
<b>平成31年度予定</b>			
今後も家族経営協定締結を推進していきたい。	予算額		
目標値			
-			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方針</b>	3 地域社会における男女共同参画の確立
<b>施策の方向</b>	1 地域活動における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
自治会長に占める女性の割合	企画情報課	3.9%	6.0%
<b>事業の概要</b>			
地域における各種団体等において、女性の参加を促進し、方針決定の場においても女性が主体的に関わることの重要性を啓発し、自治会等コミュニティ組織活動に女性が感心を持ち、積極的に参画できるよう、多様な地域活動の情報や参画機会の提供を行います。			
<b>平成30年度実績</b>			
H30.4.1現在 自治会長総数 507名 うち女性の自治会長 20名 割合 3.9%			<b>決算額</b>
			-
			<b>実績値</b>
			<b>3.9%</b>
		<b>進捗状況</b>	
		<b>3</b>	
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
少しずつ女性の自治会長が増えてきてはいるが、自治会の総数から考えると、決して多いとは言えない。自治会長の負担も多くなってきている中、女性の自治会長をどう増やしていくかが課題になる。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか		-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか		-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか		-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか		-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか		-	
<b>平成31年度予定</b>			
H31.4.1現在 自治会長総数 507名 うち女性の自治会長 24名 割合 4.7%			<b>予算額</b>
			-
			<b>目標値</b>
		<b>5.0%</b>	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	3 地域社会における男女共同参画の確立
<b>施策の方向</b>	2 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
消防団員に占める女性の割合	危機管理課	—	3%

事業の概要	
消防、防災活動充実のための女性消防団員の増加促進を図るもの。	

平成30年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度内における女性消防団の増員 5名 (平成31年3月31日現在 消防団員2,069名のうち、女性消防団員29名)</li> <li>7月豪雨災害時における高齢者等の安否確認及び避難所の環境調査等を実施 (4日間、延べ11人)</li> </ul>	決算額
	実績値
	1.4%
	進捗状況
3	

事業に対する評価・課題等	
当市では、男女ともに消防団員が減少傾向にある中、今年度は5名の増員を行った。今後も団員の確保を図り、男性主体の消防団活動への女性の参画により、男性団員との協力及び相互補完により、消防団活動の活性化につなげたい。	

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成31年度予定	
これまで女性消防団員が所属していなかった吉田、三間の両方面隊へ新規団員の加入促進を行い、男女双方の視点に十分配慮した消防、防災活動の充実を図る。	予算額
	目標値
	10人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	3 地域社会における男女共同参画の確立
<b>施策の方向</b>	2 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
防災会議委員に占める女性の割合	危機管理課	4.0%	10.0%
<b>事業の概要</b>			
防災会議に女性委員を登用することにより、計画策定等に女性の意見を取り入れていくもの。			
<b>平成30年度実績</b>			
女性の新規登用なし。 (条例で規定している委員構成の中に、新たな女性の役職者等がいなかったため。)			<b>決算額</b>
			-
			<b>実績値</b>
			-
		<b>進捗状況</b>	1
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか		2	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか		-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか		-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか		-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか		-	
<b>平成31年度予定</b>			
災害対策基本法をもとに、市の条例で委員構成について規定しているため、各種組織等の役職者に女性が就かなければ変更は難しい。		<b>予算額</b>	
		-	
		<b>目標値</b>	
		-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>I あらゆる分野における女性の活躍(女性活躍推進)</b>
<b>推進方策</b>	3 地域社会における男女共同参画の確立
<b>施策の方向</b>	2 防災分野における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
防災士数(うち女性防災士数)	危機管理課	-	800人 (160人)
<b>事業の概要</b>			
男女がともに地域での防災活動へ参画できるよう女性防災士の育成を行い、女性の視点を生かした防災啓発活動を促進する。			
<b>平成30年度実績</b>			
・平成30年度内における女性防災士の増加 36名 (平成31年3月31日現在 防災士701名のうち、女性防災士154名)			決算額
			実績値
			<b>154人</b>
			進捗状況
<b>5</b>			
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
防災士の養成状況は、概ね順調に推移しているが、資格取得後の活動支援やフォローアップ体制を整備する必要がある。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			<b>4</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			<b>3</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			<b>4</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			-
<b>平成31年度予定</b>			
防災士100名(うち女性2割以上)を養成し、目標値(H39)を達成させる。			予算額
			目標値
			<b>180人</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	1 生涯を通じた健康づくり支援
<b>施策の方向</b>	1 市民の健康増進と健康への機会づくり

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
特定健康診査受診率	保険健康課	29.9 %	60%

**事業の概要**

宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から74歳の者を対象として実施する健康診査をいう。糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。健康の基本は、健診からであることを周知することにより受診率アップに努める。

平成30年度実績	
・特定健康診査及び後期高齢者健診 実施期間：個別(6月～2月) 集団(6月～2月) ・受診実績(直近速報 暫定値) 特定健康診査：6,012人(33.4%) 後期高齢者健診：886人(6.4%)	決算額
	61,568千円
	実績値
	33.4%
	進捗状況
	4

**事業に対する評価・課題等**

・特定健診の受診率は、H26年度自己負担無料化から飛躍的に向上しH27年度は30.0%に達し、H30年度33.4%(暫定値)と伸びた。しかしながら、国の目標の60%には届いておらず、引き続き受診率向上を図る必要がある。  
 ・受診率が向上した原因としては、継続受診者及び不定期受診者等の確保の為、AIを活用した勧奨通知等を委託して実施したこと、国保新規加入者への受診勧奨を実施したこと等が考えられる  
 ・より若い世代からの健診受診の習慣化を図るため、若年者健診を開始(19～39歳で他に健診の機会がない者)した。  
 ・当市においては、心疾患対策が課題であることから、特定健診受診者全員に心電図検査(無料)を開始した。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成31年度予定	
・市民が利用しやすい健診会場の確保及び日程の設定 ・引き続きAIを活用した受診勧奨と国保新規加入者への受診勧奨により受診率向上を図る。	予算額
	71,859千円
	目標値
	60%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	1 生涯を通じた健康づくり支援
<b>施策の方向</b>	1 市民の健康増進と健康への機会づくり

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)受診率	保険健康課	7.3-15.2%	50%

**事業の概要**

健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に本市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療をなくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の制度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

**【対象年齢とがん検診項目】**  
 ・20歳以上女性:子宮がん検診  
 ・30歳代女性:乳房超音波検診  
 ・40歳以上:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(マンモグラフィ)  
 ・50歳～60歳代女性:子宮頸がん検診(経膈エコー検診)

**【実施方法】**  
 ・集団検診:胃がん(透視)・肺がん・肺がんCT・大腸がん・子宮頸、体がん・乳がん・乳エコー  
 ・個別検診:胃がん(透視、カメラ)・子宮頸がん

**平成30年度実績**

H30年度 がん検診実績	<b>決算額</b>																																																																	
<b>●がん検診受診数年次推移(愛媛県報告)</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検診種別</th> <th rowspan="2">H26</th> <th rowspan="2">H27</th> <th rowspan="2">H28</th> <th rowspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>受診数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん(透視)</td> <td>2,825</td> <td>2,664</td> <td>2,424</td> <td>2,292</td> <td>2,313</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>肺がんCT</td> <td>920</td> <td>925</td> <td>963</td> <td>913</td> <td>916</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>肺がんCR</td> <td>3,655</td> <td>3,703</td> <td>3,583</td> <td>3,495</td> <td>3,699</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>4,861</td> <td>4,933</td> <td>4,866</td> <td>4,724</td> <td>4,688</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>1,945</td> <td>1,964</td> <td>1,915</td> <td>1,911</td> <td>1,964</td> <td>8.2%</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>3,413</td> <td>2,874</td> <td>2,788</td> <td>2,617</td> <td>2,490</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>乳がん(マンモ)</td> <td>3,268</td> <td>3,134</td> <td>3,066</td> <td>2,927</td> <td>2,818</td> <td>13.4%</td> </tr> <tr> <td>胃カメラ</td> <td>642</td> <td>805</td> <td>884</td> <td>895</td> <td>927</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記以外の実績(H30) 乳がんエコー検診:137人、子宮経膈エコー検診:205人          ※前立腺がんは40歳以上の受診者数(再掲:40～49歳 193人)</p>	検診種別	H26	H27	H28	H29	H30		受診数	受診率	胃がん(透視)	2,825	2,664	2,424	2,292	2,313	4.3%	肺がんCT	920	925	963	913	916	1.7%	肺がんCR	3,655	3,703	3,583	3,495	3,699	6.9%	大腸がん	4,861	4,933	4,866	4,724	4,688	8.7%	前立腺がん	1,945	1,964	1,915	1,911	1,964	8.2%	子宮頸がん	3,413	2,874	2,788	2,617	2,490	10.1%	乳がん(マンモ)	3,268	3,134	3,066	2,927	2,818	13.4%	胃カメラ	642	805	884	895	927		<b>67,196千円</b>
						検診種別	H26	H27	H28	H29	H30																																																							
	受診数	受診率																																																																
	胃がん(透視)	2,825	2,664	2,424	2,292	2,313	4.3%																																																											
	肺がんCT	920	925	963	913	916	1.7%																																																											
肺がんCR	3,655	3,703	3,583	3,495	3,699	6.9%																																																												
大腸がん	4,861	4,933	4,866	4,724	4,688	8.7%																																																												
前立腺がん	1,945	1,964	1,915	1,911	1,964	8.2%																																																												
子宮頸がん	3,413	2,874	2,788	2,617	2,490	10.1%																																																												
乳がん(マンモ)	3,268	3,134	3,066	2,927	2,818	13.4%																																																												
胃カメラ	642	805	884	895	927																																																													
	<b>実績値</b>																																																																	
	<b>4.3-13.4%</b>																																																																	
	<b>進捗状況</b>																																																																	
	<b>5</b>																																																																	

**事業に対する評価・課題等**

1) 受診しやすい検診体制の整備 ・年度末40歳の一部がん検診無料継続 ・子育て中が受診しやすい検診体制の整備(ボランティアの協力等) ・子宮頸がん・子宮体がんセット検診の実施 ・子宮頸、乳がん検診無料クーポンを廃止し、年度末年齢で自己負担無料年齢の拡充を行った。(子宮頸がん検診:20,21,40歳及び70歳以上 乳がん検診:40,41歳 (下線はH30年度のみ)の経過措置)	2) 受診勧奨 ・特定健診の受診勧奨時にがん検診も勧奨し受診率の向上に努めた ・要精密検査者の受診勧奨を電話・訪問でタイムリーに行った
---	---

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成31年度予定	
・受診しやすい健診体制の継続 ・要精密検査者の受診勧奨の継続	<b>予算額</b>
	<b>73,487千円</b>
	<b>目標値</b>
	<b>50%</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	1 生涯を通じた健康づくり支援
<b>施策の方向</b>	1 市民の健康増進と健康への機会づくり

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
特定保健指導実施率	保険健康課	30.4 %	60%
<b>事業の概要</b>			
<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。            特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>			
<b>平成30年度実績</b>			
特定保健指導(県費実績報告H31.3月末暫定値) ※法定報告確定は11月頃 積極的支援 当該年度対象者 287人 実績:指導終了者30人、初回面接のみ終了41人、評価終了36人 動機づけ支援 当該年度対象者 703人 実績:指導終了者135人、初回面接のみ終了73人、評価終了105人			決算額
			601千円
			実績値
			未確定
			進捗状況
5			
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導の目的と流れを可視化したカードを作成し、受講者と共有を図り指導の効果向上に役立てた。</li> <li>・指導用資料として、行動変容チェックシートやエネルギー早見表を作成し活用した。</li> <li>・記録用紙を簡略化し事務事業の効率化を図った。</li> <li>・特定健康診査等実施計画(第3期)をデータヘルス計画(第2期)と一体化して策定。</li> </ul>			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			5
<b>平成31年度予定</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査等実施計画(国:第3期)の特定保健指導に係る改定事項に準拠した実施体制の構築を行う。</li> <li>・実施可能な特定健診会場において、健診終了後、特定保健指導対象見込み者に対して、初回指導を行い、その後の指導につなぎ、特定保健指導実施者の拡大を図る。</li> </ul>			予算額
			791千円
			目標値
60%			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	1 生涯を通じた健康づくり支援
<b>施策の方向</b>	2 男女の性差に応じた健康支援

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
妊婦健康診査(公費負担)受診率	保険健康課	95.6%	100%

**事業の概要**

母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。

**平成29年度実績**

〈対象〉宇和島市に住民登録をしている妊婦 〈内容〉 ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。	(2) 9枚綴り分(B券)			決算額
		交付数	受診数	受診率(%)
	1回目	394	374	94.9%
	2回目	397	383	96.5%
	3回目	401	382	95.3%
	4回目	405	369	91.1%
	5回目	409	351	85.8%
	6回目	411	322	78.3%
	7回目	411	264	64.2%
	8回目	411	189	46.0%
	9回目	410	119	29.0%
				<b>32,333千円</b>
				<b>実績値</b>
				<b>97.2%</b>
				<b>進捗状況</b>
				<b>5</b>

① 妊婦一般健康診査			
(1) 5枚綴り分(A券)			
	交付数	受診数	受診率(%)
1回目	391	380	97.2%
2回目	397	367	92.4%
3回目	400	369	92.3%
4回目	405	379	93.6%
5回目	411	354	86.1%

**事業に対する評価・課題等**

・妊婦健診初回(5枚綴り1回目)の受診率は97.2%であり、昨年度よりも若干上がった。(H29年度95.6%)  
 ・妊婦健診の結果から、高血糖妊婦の割合が県下で高い状況であるため、高血糖妊婦に対しては妊娠中より栄養指導等を行っている。妊娠前の体重が、BMI25以上の肥満である妊婦が12.4%、朝食欠食率も10.5%あり、妊娠期における食事指導を行う必要がある。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

**平成31年度予定**

・今後も母子健康手帳交付時に、栄養士による食事指導を行い、併せて妊婦健診受診の必要性や利用方法について説明している。H31年度より子育て世代包括支援センターマザーズステーション「すてっぷ」開設により、妊婦一般健康診査の結果、高血糖、貧血、肥満等の妊婦については、再度栄養指導等を行い、健康管理を支援していく。	予算額
	<b>33,000千円</b>
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	<b>3 安心して子育てが出来る環境の整備</b>
<b>施策の方向</b>	<b>1 安心して子どもを育てられる環境整備</b>

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
市職員の育児休業取得率の向上	総務課	男性0% 女性100%	男性15%以上 女性100%
<b>事業の概要</b>			
市職員が育児休業を取得しやすい職場環境を整えるとともに、男性職員の取得率が低い育児休業について制度の有効活用が図られるよう、啓発を促進する。			
<b>平成30年度実績</b>			
○平成30年度中に新たに育児休業が取得可能になった職員数と取得実績 対象者 男性8人 女性4人 取得者 男性0人(0%) 女性4人(100%)			決算額
			実績値
			<b>男性0% 女性100%</b>
			進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
30年度については皆無という結果となった。制度の周知不足と育児休業を取得しづらい職場環境(風土)が要因であると考えられる。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	2		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	2		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	2		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-		
<b>平成31年度予定</b>			
30年度当初に「両立支援ハンドブック」によって、育児休業を含む休暇等制度の周知を行った。今後においては、制度の利用が図られるよう、育児休業を取得しやすい職場環境づくりに努めたい。			予算額
			目標値
			<b>男性10% 女性100%</b>

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	1 安心して子育てが出来る環境の整備
<b>施策の方向</b>	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
延長保育実施箇所数	福祉課	7箇所	10箇所
<b>事業の概要</b>			
開所時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育の拡充に努めます。			
<b>平成30年度実績</b>			
延長保育事業(保育時間を超えた1時間延長)を7施設で実施し保育ニーズに対応しました。 ・宇和島済美保育園 ・丸穂保育園 ・立正保育園 ・石丸保育園 ・尾串保育園 ・元気の泉保育園 ・みゆき保育園			決算額
			12,105千円
			実績値
			7箇所
		進捗状況	
		1	
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
目標値を10箇所に設定していますが、現状において、実施施設の拡大の必要性について検証が必要と考えます。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか		4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか		4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか		4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか		4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか		4	
<b>平成31年度予定</b>			
今後、段階的に増やしていく。(公立保育所を認定こども園化のうえ、民営化を予定。対象施設: 吉田愛児園、三間認定こども園、岩松保育園)		予算額	
		11,854千円	
		目標値	
		7箇所	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	3 安心して子育てが出来る環境の整備
<b>施策の方向</b>	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
休日保育実施箇所数	福祉課	1箇所	1箇所

事業の概要
保護者の日曜・祝日の勤務などの理由によって保育ができない場合の対応を行います。

平成30年度実績	
休日保育事業を法人保育園1園(丸穂保育園)において実施し、必要なニーズに対応しました。	決算額
	-
	実績値
	1箇所
	進捗状況
	-

事業に対する評価・課題等
ニーズ量から判断しても、運営維持(1施設)は必要と考えます。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	

平成31年度予定	
特にありません。	予算額
	-
	目標値
	1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	3 安心して子育てが出来る環境の整備
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
病児保育実施箇所数	福祉課	1箇所	2箇所

事業の概要
就労等の理由により、病気を発症している子どもの保育が困難な場合に、一時的に保育し対応する病児保育を行います。

平成30年度実績	
医療法人桑折小児科が運営する乳幼児デイケアトロイメライにおいて、病児保育事業を実施しました。	決算額
	11,038千円
	実績値
	1箇所
進捗状況	
1	

事業に対する評価・課題等
キャンセル率が高く、受入れに支障を来している状況の改善等(ルール遵守等の啓発)が必要であるほか、病児保育事業実施施設数や定員数の拡充を望む意見があるため、拡充の検討が求められています。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成31年度予定	
当該年度の拡充は検討してないため、特に予定はありません。	予算額
	11,264千円
	目標値
1箇所	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)
推進方針	3 安心して子育てが出来る環境の整備
施策の方向	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
学童保育実施箇所数	福祉課	11箇所	13箇所
事業の概要			
地域の实情に合わせて子育て支援を充実させるため、小学生の放課後の居場所を確保する放課後児童プラン(放課後児童クラブ)を充実する。(対象者1~6年生)			
平成30年度実績			
11箇所の放課後児童クラブの運営を行った。 ・石丸ルーム(石丸保育園) ・済美ルーム(済美保育園) ・元気の泉学童ルーム(元気の泉保育園) ・番城放課後児童クラブ1(番城美徳認定こども園) ・鶴島放課後児童クラブ(鶴島小学校内) ・津島放課後児童クラブ(岩松幼稚園内)			決算額
			96,686千円
			実績値
			11箇所
			進捗状況
			4
事業に対する評価・課題等			
児童数の減少に反し、女性の社会進出により学童保育に対する利用意向が高い。			
男女共同参画の視点での評価			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			4
平成31年度予定			
宇和島市子ども・子育て支援事業計画の改訂において、対応策を盛り込む予定。 児童数の減少が予想されるが、学童保育の利用者の利便性に配慮する必要があり、地域の实情に応じたサービスの需要と供給の適正なバランスも図りながら、教育委員会と連携しながら対応する。			予算額
			97,000千円
			目標値
			11箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	3 安心して子育てが出来る環境の整備
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 安心して子どもを育てられる環境整備

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
一時預かり実施箇所数	福祉課	6箇所	10箇所
<b>事業の概要</b>			
<p>保育所等を利用していない家庭において、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭での保育が困難となる場合に対応するため、保育所、幼稚園、認定こども園その他の場所において児童を一時的に預かる事業を行います。</p>			
<b>平成30年度実績</b>			
公立認定こども園1施設(番城美德認定こども園)、私立保育所6施設(宇和島済美保育園・丸穂保育園・立正保育園・石丸保育園・尾串保育園・元気の泉保育園)、私立幼稚園1施設(鶴城幼稚園)において実施し、ニーズに対応しました。			決算額
			14,421千円
			実績値
			6箇所
			進捗状況
			3
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
<p>特に、一時預かり事業(一般型)を実施できていない旧吉田町、旧三間町、旧津島町について実施体制を整える必要があると考える。</p>			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			2
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			2
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			2
<b>平成31年度予定</b>			
伊吹認定こども園が、新たに、子ども・子育て支援新制度の一時預かり事業(幼稚園型)に加わります。			予算額
			17,751千円
			目標値
			7箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	<b>3 安心して子育てが出来る環境の整備</b>
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	<b>1 安心して子どもが育てられる環境整備</b>

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
放課後子ども教室数	生涯学習課	11箇所	15箇所

**事業の概要**

放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。

**平成30年度実績**

				決算額
【天神放課後子ども教室】	実施日数: 8日	【和霊放課後子ども教室】	実施日数: 6日	<b>15,412千円</b>
【高光放課後子ども教室】	実施日数: 184日	【住吉放課後子ども教室】	実施日数: 186日	
【三間放課後子ども教室】	実施日数: 190日	【二名放課後子ども教室】	実施日数: 179日	実績値
【成妙放課後子ども教室】	実施日数: 189日	【畑地放課後子ども教室】	実施日数: 185日	<b>12箇所</b>
【宇和津放課後子ども教室】	実施日数: 187日	【清満放課後子ども教室】	実施日数: 188日	進捗状況
【北灘放課後子ども教室】	実施日数: 141日	【美沼子ども教室】	実施日数: 97日	<b>4</b>

**事業に対する評価・課題等**

合計11箇所で開催している。  
 学校日の開催を基本としている7教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間や土曜日の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を開設した。  
 公民館で不定期に開催している2教室については貸館の都合上実施回数に限りがあり、地域の教育力を生かした児童の居場所づくりという観点からは十分評価できるものの、学童保育の普及を求める保護者のニーズには十分対応できていない。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	<b>4</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	<b>4</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	<b>5</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	<b>5</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	<b>4</b>

**平成31年度予定**

				予算額
【天神放課後子ども教室】	実施日数: 10日	【和霊放課後子ども教室】	実施日数: 10日	<b>16,419千円</b>
【高光放課後子ども教室】	実施日数: 189日	【住吉放課後子ども教室】	実施日数: 189日	
【三間放課後子ども教室】	実施日数: 189日	【二名放課後子ども教室】	実施日数: 189日	目標値
【成妙放課後子ども教室】	実施日数: 190日	【畑地放課後子ども教室】	実施日数: 192日	<b>13箇所</b>
【宇和津放課後子ども教室】	実施日数: 190日	【清満放課後子ども教室】	実施日数: 189日	
【北灘放課後子ども教室】	実施日数: 151日	【美沼子ども教室】	実施日数: 99日	
【宇和島子ども教室】	実施日数: 34日			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	<b>3 安心して子育てが出来る環境の整備</b>
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	<b>1 安心して子どもが育てられる環境整備</b>

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
放課後子ども教室登録児童数	生涯学習課	285人	400人

**事業の概要**

放課後に小学校の余剰教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。

**平成30年度実績**

事業の概要		決算額
【天神放課後子ども教室】 登録制ではない 【和霊放課後子ども教室】 登録制ではない		<b>15,412千円</b>
【高光放課後子ども教室】 28人 【住吉放課後子ども教室】 67人		<b>実績値</b>
【三間放課後子ども教室】 56人 【二名放課後子ども教室】 40人		<b>308人</b>
【成妙放課後子ども教室】 12人 【畑地放課後子ども教室】 20人		<b>進捗状況</b>
【宇和津放課後子ども教室】 54人 【清満放課後子ども教室】 22人		<b>4</b>
【北灘放課後子ども教室】 9人 【美沼子ども教室】 三間・二名・成妙の登録者		

**事業に対する評価・課題等**

登録制でない天神・和霊、三間地区の登録者が自動的に登録される美沼子ども教室を除いて、308人の登録者がいる。学校日の開催を基本としている7教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間や土曜日の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を開設した。公民館で不定期に開催している2教室については貸館の都合上実施回数に限りがあり、地域の教育力を生かした児童の居場所づくりという観点からは十分評価できるものの、学童保育の普及を求める保護者のニーズには十分対応できていない。

**男女共同参画の視点での評価**

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	<b>4</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	<b>4</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	<b>5</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	<b>5</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	<b>4</b>

**平成31年度予定**

事業の概要		予算額
【天神放課後子ども教室】 登録制ではない 【和霊放課後子ども教室】 登録制ではない		<b>16,419千円</b>
【高光放課後子ども教室】 30人 【住吉放課後子ども教室】 70人		<b>目標値</b>
【三間放課後子ども教室】 60人 【二名放課後子ども教室】 40人		<b>325人</b>
【成妙放課後子ども教室】 15人 【畑地放課後子ども教室】 20人		
【宇和津放課後子ども教室】 55人 【清満放課後子ども教室】 25人		
【北灘放課後子ども教室】 10人 【美沼子ども教室】 三間・二名・成妙の登録者		
【宇和島子ども教室】 高光・住吉・宇和津の登録者		

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>
<b>推進方策</b>	<b>3 安心して子育てが出来る環境の整備</b>
<b>施策の方向</b>	<b>1 安心して子どもを育てられる環境整備</b>

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
地域子育て支援拠点施設設置箇所数	福祉課	5箇所	8箇所
<b>事業の概要</b>			
公共施設や保育所、子育て支援センターや児童館等の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、さまざまな情報提供等を実施します。			
<b>平成30年度実績</b>			
地域子育て支援拠点事業を法人保育園5園で実施するとともに、他の保育所や公民館などでも対応できる体制が整っています。 ・宇和島済美保育園 ・立正保育園 ・尾串保育園 ・石丸保育園 ・元気の泉保育園			決算額
			39,755千円
			実績値
			5箇所
			進捗状況
			1
<b>事業に対する評価・課題等</b>			
当該事業を実施できていない旧吉田町・旧三間町・旧津島町での実施検討は必要と考えられるが、利用実績(利用延べ人数)やニーズ量から旧宇和島地区での拡充については再検証が必要と思われる。			
<b>男女共同参画の視点での評価</b>			
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか			4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか			4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか			4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか			4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか			4
<b>平成31年度予定</b>			
当該年度は拡充の予定はなく、特にありません。			予算額
			39,755千円
			目標値
			5箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

<b>基本目標</b>	<b>Ⅲ 生涯にわたり安心して暮らせる社会づくり(環境の整備)</b>	
<b>推進方策</b>	3 安心して子育てが出来る環境の整備	
<b>施策の方向及び具体的施策</b>	1 安心して子どもを育てられる環境整備	[4] 育児支援サービスの充実・利用促進

関連事業	担当課	数値目標	
		現状値(H29)	目標値(H39)
ファミリー・サポート・センター利用会員登録者数	福祉課		500人

事業の概要
子育て中の保護者が急な仕事・用事により、子どもの世話ができないとき、一時的に地域住民が子育ての手伝いをおこなう。

平成30年度実績	
利用会員 276名 サポート会員 103名 両方会員19名 計398名(平成31年3月31日現在) サービスを円滑に提供するため、会員間を対象とした講習、研修等を実施した サポート会員養成講習会 8回 会員間の交流会 1回 レベルアップ学習会 1回 子育てセミナーへの参加 12回	決算額
	2,447千円
	実績値
	398人
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等
サポート会員の高齢化に伴う人材の確保

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成31年度予定	
サポート会員養成講習会 随時 会員間の交流会 1回 レベルアップ学習会 1回 子育てセミナーへの参加 12回	予算額
	2,510千円
	目標値
	420人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—